

# 桜町再開発・MICE 施設 事業費がさらに増えて 449 億円に

2月17日、中心市街地活性化特別委員会が開かれ、桜町再開発・MICE 施設整備の問題点が、ますます浮き彫りになりました

## 見直しは「コスト削減」どころか、9億円もの事業費増

新市長のもと、昨年12月から「桜町地区再開発事業精査・再検討会議」が開かれてきました。コスト面・施設規模等・利用率向上・費用対効果などが検証されてきました。

結果的には、事業規模縮小・メインホールの低層階配置など、多くはできないとの判断になりました。

その中で、2階国際会議ホールへの中規模ホール機能の追加は実施するとの結論になりました。しかし、可動席やバトン等の設置により、事業費が9億円増えます。昨年11月の事業認可申請案提出時に44億円増えていた事業費が、さらに9億円増え、総事業費は449億円です。

## 「中規模ホール機能」の追加9億円、わずか年70件の利用増

中規模ホール機能を追加した場合の利用増は、年間70件です。使いやすい中規模ホールとして、市民に親しまれていた産業文化会館ホールは年間410件も利用されていました。

10億円以上の税金を使い産業文化会館は廃止・解体されました。9億円もの税金を使い、中途半端な中規模ホール機能を追加する今回の見直しは、ムダにムダを重ねるものです。

## 450億円に膨れ上がったMICE 整備、借入金利息だけで50億円

整備費が450億円に膨れ上がったMICE 整備は、264億円もの借金をして事業をすすめていきます。借入金の利息だけでも約50億円です。

市民の税金を450億円もつぎ込む、市政史上最大のハコモノ建設のムダづかいに市民の理解は得られません。

## 再開発会社へ、無利子の貸付60億円の大盤振る舞い

熊本市は、桜町再開発会社へ年間20億円、3ヵ年で60億円の無利子の貸し付けをします。60億円もの多額の貸付でありながら、再開発会社からの口頭の申し入れだけで、市としては再開発会社の申し出を受け入れ、国との協議を行い貸し付けを決めました。この制度の利用によって再開発会社の資金調達における利子負担が3億円軽減されます。

熊本市が中小企業等に行う制度融資の場合、少額でも有利子です。今回の再開発会社への無利子貸付は、まさに大企業へ「至れり尽くせり」の大盤振る舞いです。

市民から市議団へ「桜町再開発には、MICE 整備で450億円もお金を出すのに、今度は60億円も無利子で貸すというので驚いた」との声が寄せられました。

(控室から)

市営住宅アンケートから見えてきたもの

なすまどか

市議団が実施した市営・県営住宅入居者へのアンケートの回答が続々と寄せられています。「お風呂のことで相談があります」と書かれた80代の方の部屋を訪ねました。

要介護1と認定されたその方は、立ち上がることもやっとで、お風呂の浴槽が深すぎて自らの力では浴槽から出ることができないと切実な思いを語ってくれました。古い住宅は、お風呂のスペースも限られ、小さく深さのある浴槽を設置している方も少なくありません。

週2回のヘルパーさんが来ているとのことですが、上背の高いヘルパーさんでないと対応できないために、週に一度しかお風呂に入ることができないとのことでした。暑い熊本の夏、毎日汗を流したかったでしょうし、寒い冬、湯船でゆっくり体を温めたかったことでしょう。

こうした要望を受け、熊本市に風呂場のバリアフリーに取り組みよう要望しましたが、実現に向けた回答は得られませんでした。莫大な費用を投じるMICE整備よりも、もっともっと優先すべきものがあります。熊本県が実施している県営住宅のバリアフリーの取り組みに学び、熊本市でも改善できるよう、取り組みを強めたいと思います。



リガリス・ベゴニア

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか  
熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 938  
2015年2月22日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

## 新年度予算

# 中学校へのエアコン設計予算、障がい者へのガソリン券助成など みなさんの要望が新年度予算に実を結びました

## 7年間訴え続けた障がい者の長年の願い ガソリン券助成制度が新年度予算に計上

重い障がい等により、さくらカードやタクシー券などが利用できない障がい者も少なくありません。「社会参加・移動手段への支援を」と長年要望されてきたガソリン券助成予算が新年度に向け提案されました。

熊本市は、新年度に1140万円の予算を計上。7年間にわたり、毎議会陳情をだすなど要求実現に向けた取り組みがなされてきましたが、切実な願いが、やっと市政に届きました。

## より利用しやすい制度へ改善を！

今回提案されたガソリン券助成制度の対象者は、知的障がいのA1、A2の方で、助成額は年1万2000円です。助成対象を、知的障がいに制限せず、必要な方が利用できるようにすることや、助成額についても札幌市や仙台市が3万円となっているよう、助成額を拡充するなど、より利用しやすい制度へと改善が求められます。

## 車いす利用の子どもたちが在籍する学校へのエレベータ設置に向けた設計予算

車いすを利用している子どもたちが在籍する学校へのエレベータ設置の設計予算が提案されました。今年設計を行い、国の補助を活用しながら来年度に工事

を行う予定です。

保護者からの強い要望が実現しましたが、まだ2校分の予算であり、必要とする学校全てに早急に設置を進めることが求められます。

## 子どもたちへ快適な教育環境を 中学校へのエアコン設置に向けた設計予算

共産党市議団としても、市内各学校への調査や、既に全教室へ設置している人吉市への調査、国への予算の働きかけなど、小中学校普通教室へのエアコン設置に向け、取り組みを進めてきました。

議会でも繰り返し取り上げるなか、今回、中学校へのエアコン設置に向けた設計予算が提案されました。

来年度予算で、中学校の設計を行い、再来年度以降も小学校

も含め設置に向けた取り組みが順次進められる予定です。

小学校においても、1日も早くエアコンが設置されるよう、引き続きがんばる決意です。



## 市営・県営住宅アンケートへのご協力ありがとうございました 県営住宅の住環境改善にむけ県に要請

市議団がおこなった市営・県営住宅入居者へのアンケートに続々と回答が寄せられています。市への要望に続き、2月13日、熊本県へ寄せられた要望を届け、住環境改善

に向け要請を行いました。

住宅の老朽化、バリアフリーへの対応、駐車場の確保など様々な要望、一つ一つの解決に向け引き続きがんばります。

